

# アニマルパスウェイ 10周年記念 シンポジウム 広げよう『野生動物の歩道橋』 ～コリドーで繋ぐ森と命～

COP10から3年。  
 生物多様性への取り組みの  
 “いま”を知る機会です。  
 一緒に考えてみませんか。

道路建設や開発により  
 分断・孤立化する森林や生態系



生物多様性を支える産官学・  
 市民の協働と環境教育



アニマルパスウェイなど  
 具体的な対応策の開発と普及



## 【日時】

2013年12月2日(月)  
 13時00分～18時00分

## 【場所】

経団連会館 経団連ホール (120名)  
 東京メトロ「大手町」駅 C2b 出口直結

入場無料

<事前申込み先着順>

「生態系ネットワークについて」	「森林の孤立化と樹上性動物」	「道路と野生生物」
環境省自然環境局 生物多様性地球戦略企画室 室長 奥田 直久 氏	森林総合研究所 多摩森林科学園 チーム長 田村 典子 氏	日本自然保護協会 理事長 亀山 章 氏
「対応策の現状その1」	「対応策の現状その2」	「対応策の現状その3」
国土交通省 国土技術政策総合研究所 道路研究部緑化生態研究室 室長 栗原 正夫 氏	アニマルパスウェイ研究会 会長 ニホンヤマネ保護研究グループ 会長 関西学院大学 教授 湊 秋作 氏	帯広畜産大学 畜産生命科学部環境生態学分野 教授 柳川 久 氏
パネルディスカッション	ポスターセッション	コーヒープレーク

主催：(一社)アニマルパスウェイと野生生物の会、ニホンヤマネ保護研究グループ、アニマルパスウェイ研究会  
 共催：(公財)キープ協会・やまねミュージアム  
 後援：国土交通省国総研(依頼中)、環境省(依頼中)、北杜市(依頼中)、経団連自然保護協議会、  
 (公財)日本自然保護協会、(社)東京都トラック協会  
 協賛：東日本電信電話株式会社、清水建設株式会社、大成建設株式会社、株式会社エンウィット  
 協力：新日本開発工業株式会社、株式会社東光コンサルタンツ、国際航業株式会社、キリンビバレッジ株式会社  
 助成：地球環境基金、公益信託経団連自然保護基金、ザ・ボディショップ基金(予定)



(一社)アニマルパスウェイと野生生物の会

<http://www.animalpathway.org/>



【プログラム予定】2013年12月2日(月) 13:00～18:00 経団連会館 経団連ホール

時間	講演	講演者	内容
13:00～13:05	開会挨拶	アニマルパスウェイ研究会会長	主催者代表
13:05～13:15	後援者挨拶	経団連自然保護協議会 企画部会長 石原 博 氏	後援者代表
13:15～13:45	生態系ネットワークについて	環境省自然環境局 生物多様性地球戦略企画室 室長 奥田 直久 氏	愛知目標、生物多様性国家戦略における生態系ネットワーク
13:45～14:15	森林の孤立化と樹上性動物	森林総合研究所 多摩森林科学園 チーム長 田村 典子 氏	森林の分断・孤立化の現状と影響事例について
14:15～14:45	道路と野生生物	日本自然保護協会 理事長 亀山 章 氏	生き物の生活とその環境を大切に したみちづくり
14:45～15:05	対応策の現状 その1	国土交通省 国土技術政策総合研 究所 道路研究部 緑化生態研究室 室長 栗原 正夫 氏	野生動物に対するロードキル対策 とその効果
15:05～15:25	対応策の現状 その2	アニマルパスウェイ研究会 会長 ニホンヤマネ保護研究グループ 会長 関西学院大学 教授 湊 秋作 氏	アニマルパスウェイの普及の現状 とヨーロッパなどにおける対応策
15:25～15:55	ポスターセッション&コーヒーブレイク		
15:55～16:15	対応策の現状 その3	帯広畜産大学 畜産生命科学研究 部門 環境生態学分野 教授 柳川 久 氏	北海道における樹上性野生生物の ための移動経路
16:15～17:25	パネル ディスカッション	コーディネーター：湊 秋作 氏 パネラー：講師より数名を予定	樹上性動物のための歩道橋の普及 と教育への利用と今後
17:25～17:30	閉会挨拶	アニマルパスウェイと野生生物 の会	主催者
17:30～17:50	ポスターセッション		

【お申込み方法】

<http://www.animal-pathway.jp/sympo/> からお申込みください。

【お問い合わせ先】

〒161-0034 東京都新宿区上落合 1-10-1

一般社団法人 アニマルパスウェイと野生生物の会

E-mail : [info@animalpathway.org](mailto:info@animalpathway.org)